

B-40 リントフィルターの性能試験法試案

東京家政学院大家政 吉永フミ

東京家政学院短大 ○黒田早苗

目的 洗たく機洗浄では干しあげた洗たく物に綿屑が付着する。合繊類や羊毛製品に付着した綿屑は除きにくい。そのため屑取り器が考案されたり洗たく機にこの装置が付属するようになった。洗たく機のJISにはこの試験法はない。そこでこのリントフィルターの性能試験法を試案してみた。

方法 リントフィルターは単純な構造である。したがって単純な試験法であつて再現性もよく、資料は入手し易いことを考慮した。予備実験でテストピースとリントの選択及び処理法を探索した。これで最も叶ったリント、テストピースの生地及びその調製法を採用し、洗たく機のリントフィルター、市販の屑取り器2種につき比較試験をおこない、又実物との相関をみた。

結果 リントは扇方のカット綿を蒸い層に延し、5mmの長さにカットして25~30g洗たく槽に1gを用いる。テストピースは径11.3cmのAPPEARANCE RETENTION TESTERのカッターを使用(丸型)これで周囲をかがらなくてもほつれない。繊維の種類はポリエステル又はナイロンのタテ編地(トリコットなど)と毛100%のメルトン又は毛足のある厚地物の黒各2枚、羊毛は裁断したまゝ、ポリエステル(又はナイロン)タテ編地は裁断後ピリング試験法C法を応用して、摩擦板に弾力が高い市販のナイロンタワシ(素材：東レナイロン、接着剤：エポキシ樹脂、研磨材：酸化アルミ)を芯に紙ヤスリ100番を被せ、径58mmのクマックに試料を取りつけ100回摩擦、ピリングを発生させる。標準パターンはJIS A 1076の第Ⅳとするがこれに準じて専用パターンを作製すると判定し易い。洗たくプログラムの1Cycleで試験し繰返し3回の評価の平均をとる。